

2007年度12月期中間決算説明会資料

2007年8月16日

株式会社 ワールドインテック



WORLD INTEC
JASDAQ(2429)

目次

1. 2007年12月期中間決算概要
2. 2007年12月期業績予想
3. 新・中期経営計画の進捗
4. 製造請負No.1にむけての当社の取り組み

2007年12月期中間決算概要

2007年12月期中間連結決算サマリ（前年同期比）

■ 売上高 前年同期比 5,709百万円増（+35.2%）

- ファクトリー・テクノ・R&D事業は、新規(1,512百万円)ならびに大型移管(669百万円)が貢献し、順調に拡大。合計4,770百万円増。
- 各種サービス事業は、ワールドサーチアンドコンサルティング及びウィズコミュニケーションの立上げにより拡大。合計209百万円増。
- 情報通信事業は、イーサポートグループのショップ事業拡大により順調に推移。729百万円増。

■ 営業利益 前年同期比 88百万円減（-18.0%）

- 売上増加に伴う粗利拡大があったものの(+394百万円)、一時コストの発生(400百万円)で営業減益。

■ 経常利益 前年同期比 97百万円増（+14.4%）

- 営業減益を、助成金の営業外収益増(+186百万円)で吸収。

(単位:百万円)	06年12月期中間 (実績)	07年12月期中間 (実績)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	対売上高 構成比
売上高	16,226	21,936	5,709	35.2%	100.0%
営業利益	493	404	△ 88	-18.0%	1.8%
経常利益	676	773	97	14.4%	3.5%
当期純利益	248	256	7	3.1%	1.2%

連結決算サマリ（修正予想比）

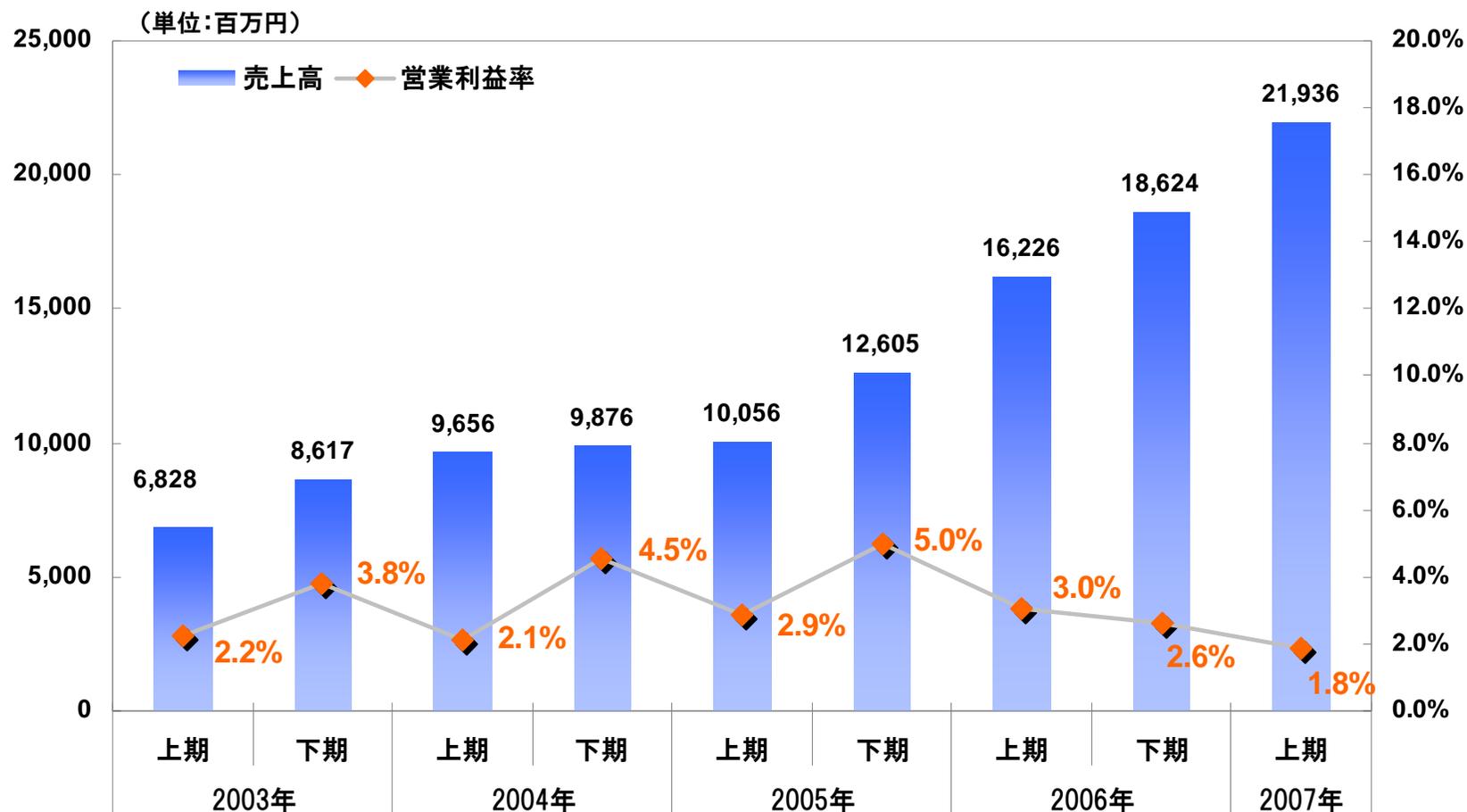
- 売上高 修正予想比 133百万円増 (+0.6%)
 - ほぼ予定通りの推移。
- 営業利益 修正予想比 110百万円減 (-21.4%)
 - 社内システム開発コストの資産計上予定から期間コスト処理への差異(38百万円)及び大型受注後の人員確保の為のコストが予想以上に発生(75百万円)。
- 経常利益 修正予想比 84百万円減(-9.8%)
 - 大型受注の人員確保の為のコストによる影響(75百万円)。

(単位:百万円)	07年12月期中間 (修正予想)	07年12月期中間 (実績)	修正予想比 増減額	修正予想比 増減率	対売上高 構成比
売上高	21,803	21,936	133	0.6%	100.0%
営業利益	514	404	△ 110	-21.4%	1.8%
経常利益	857	773	△ 84	-9.8%	3.5%
当期純利益	333	256	△ 77	-23.1%	1.2%

注：修正予想で売上・営業利益に計上しておりましたイーサポートの設備支援金126百万円につきましては、営業外収益計上と変更致しましたので、修正予想の売上・営業利益を変更して表示しております。尚、経常利益につきましては変更ありません。

連結業績の推移（半期ごと）

大型移管のためのコスト発生による一時的な利益率の圧縮はあるものの、業績は順調に推移。



セグメント別業績の概要（前年同期比）

■ ファクトリー事業

- 昨年末の大型移管等が期初より売上に寄与。それに伴い粗利も拡大(+197百万円)、大型移管の一時コスト約80百万円増の為、営業利益は99百万円の増益。

■ テクノ事業

- 1月に受注した大型移管が中間期に寄与。それに伴い粗利も拡大(+112百万円)、大型移管の一時コストが93百万円発生、営業利益30百万円の増益。

■ R&D事業

- 拠点拡大に注力し売上に寄与。粗利も拡大(+29百万円)、27百万円の増益。

■ 各種サービス事業

- 営業拠点拡大により売上拡大に寄与。粗利も拡大(+12百万円)、立上げ経費の増大により、70百万円の減益。

■ 情報通信事業

- ナンバーポータビリティ制度により売上拡大に寄与。粗利も拡大(+44百万円)、ショップ事業の拡大に伴う初期投資があり、100百万円の減益。

■ 配賦不能営業費用

- 社内システム開発コスト増、及び海外事業等への人材投資による費用増。

(単位:百万円)	売上高					営業利益				
	06年12月期中間 (実績)	07年12月期中間 (実績)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	07年12月期 中間構成比	06年12月期中間 (実績)	07年12月期中間 (実績)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	07年12月期 中間構成比
ファクトリー事業	11,094	14,269	3,174	28.6%	65.1%	658	758	99	15.2%	187.6%
テクノ事業	1,930	3,356	1,425	73.9%	15.3%	114	144	30	26.5%	35.6%
R&D事業	571	741	170	29.8%	3.4%	59	87	27	47.0%	21.5%
各種サービス事業	320	530	209	65.4%	2.4%	△ 14	△ 84	△ 70	-493.5%	-20.8%
情報通信事業	2,309	3,038	729	31.6%	13.9%	101	0	△ 100	-99.7%	0.0%
配賦不能営業費用	—	—	—	—	—	△ 425	△ 501	△ 75	-17.8%	-124.0%
合計	16,226	21,936	5,709	35.2%	100.0%	493	404	△ 88	-18.0%	100.0%

注: 当期より、事業区分及び営業費用の配賦方法の変更を行っております。尚、比較のため、前年同期等も新しい基準により表示しております。



WORLD INTEC

セグメント別業績の概要（修正予想比）

- ファクトリー・テクノ事業：売上は微増する一方、人員確保のためのコストなどで営業減益。
- R&D事業：コスト節減により増益。
- 情報通信事業：出店コスト増があり減益。
- 配賦不能営業費用：社内システム開発コスト増により減益。

(単位:百万円)	売上高				営業利益			
	07年12月期中間 (修正予想)	07年12月期中間 (実績)	修正予想比 増減額	修正予想比 増減率	07年12月期中間 (修正予想)	07年12月期中間 (実績)	修正予想比 増減額	修正予想比 増減率
ファクトリー事業	14,208	14,269	61	0.4%	781	758	△ 23	-2.9%
テクノ事業	3,330	3,356	26	0.8%	170	144	△ 26	-15.3%
R&D事業	740	741	1	0.1%	77	87	10	13.0%
各種サービス事業	512	530	18	3.5%	△ 79	△ 84	△ 5	6.3%
情報通信事業	3,013	3,038	25	0.8%	21	0	△ 21	-100.0%
配賦不能営業費用	—	—	—	—	△ 456	△ 501	△ 45	9.9%
合計	21,803	21,936	133	0.6%	514	404	△ 110	-21.4%

注：当期より、事業区分及び営業費用の配賦方法の変更を行っております。尚、比較のため、前年同期等も新しい基準により表示しております。

連結貸借対照表の概要

資産 (単位:百万円)	06年12月期 中間	07年12月期 中間	増減額
流動資産	7,013	10,178	3,165
現金及び預金	2,912	4,163	1,250
受取手形及び売掛金	3,681	5,258	1,577
その他	419	757	337
固定資産	1,473	1,662	188
有形固定資産	162	481	319
無形固定資産	390	343	△ 46
投資有価証券	278	202	△ 75
敷金及び保証金	546	515	△ 31
その他	97	121	3
資産合計	8,486	11,841	3,354
負債純資産 (単位:百万円)	06年12月期 中間	07年12月期 中間	増減額
流動負債	4,837	7,138	2,300
支払手形及び買掛金	301	513	211
短期借入金	550	923	373
その他	3,985	5,701	1,715
固定負債	82	608	525
長期借入金	—	494	494
その他	82	114	32
純資産の部	3,566	4,094	528
資本金	692	696	4
資本剰余金	855	859	4
利益剰余金	1,684	2,038	354
少数株主持分	333	495	162
負債純資産合計	8,486	11,841	3,354

利益拡大によるキャッシュフローの増加

イーサポート等の売上拡大によるショップ網拡大に伴う、工具器具備品の増加

のれん償却

サーチアンドコンサルティング子会社株式の振り替え・評価減

不動産管理会社のシフト進む

連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)	06年12月期中間	07年12月期中間	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	609	284	△ 325
税金等調整前当期純利益	676	763	87
減価償却費	26	50	24
売上債権の増減額	△ 733	△ 1,090	△ 357
たな卸資産の増減額	△ 37	△ 218	△ 181
その他	936	1,043	106
小計	868	548	△ 319
法人税等の支払額等	△ 258	△ 264	△ 5
投資活動によるキャッシュフロー	△ 207	△ 259	△ 52
有形固定資産の取得	△ 64	△ 169	△ 104
投資有価証券の取得	△ 146	-	146
その他	4	△ 90	△ 94
財務活動によるキャッシュフロー	△ 623	526	1,149
短期借入金の増減	△ 580	△ 340	240
長期借入金の増減	△ 12	937	950
株式の発行収入	4	0	△ 4
配当金の支払	△ 35	△ 72	△ 36
現金及び現金同等物の増減額	△ 222	552	774
現金及び現金同等物の期首残高	3,092	3,568	475
現金及び現金同等物の期末残高	2,870	4,120	1,250

ショップ網拡大等による固定資産の増加

ショップ網拡大による増加

金利動向を加味した、短期から長期への借入金の振替え

2007年12月期業績予想

2007年12月期連結業績予想

(単位:百万円)	06年12月期 (実績)	07年12月期 (予想)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	対売上高 構成比
売上高	34,850	47,082	12,232	35.1%	100.0%
営業利益	978	1,379	401	40.9%	2.9%
経常利益	1,172	1,716	544	46.4%	3.6%
当期純利益	418	798	380	90.6%	1.7%

セグメント別通期予想 (前年同期比)

(単位:百万円)	売上高					営業利益				
	06年12月期 (実績)	07年12月期 (予想)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	07年12月期 構成比	06年12月期 (実績)	07年12月期 (予想)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	07年12月期 構成比
ファクトリー事業	24,248	31,048	6,800	28.0%	65.9%	1,525	1,911	386	25.3%	138.6%
テクノ事業	4,074	7,000	2,926	71.8%	14.9%	228	424	196	86.0%	30.7%
R&D事業	1,227	1,600	373	30.4%	3.4%	123	152	29	23.6%	11.0%
各種サービス事業	754	1,365	611	81.0%	2.9%	△ 106	△ 83	23	-21.7%	-6.0%
情報通信事業	4,544	6,069	1,525	33.6%	12.9%	124	△ 15	△ 139	-112.1%	-1.1%
配賦不能営業費用	—	—	—	—	—	△ 917	△ 1,010	△ 93	10.1%	-73.2%
合計	34,850	47,082	12,232	35.1%	100.0%	978	1,379	401	40.9%	100.0%

注: 当期より、事業区分及び営業費用の配賦方法の変更を行っております。尚、比較のため、前年同期等も新しい基準により表示しております。

新・中期経営計画の進捗

新・中期経営計画サマリ (連結売上高・連結営業利益)

【売上高】

(単位:百万円)	06年12月期 (実績)	07年12月期 (計画)	08年12月期 (計画)	09年12月期 (計画)	06対09年度 増減率
ファクトリー事業	24,248	31,048	39,225	46,446	91.5%
テクノ事業	4,074	7,000	8,500	10,500	157.7%
R&D事業	1,227	1,600	2,100	3,000	144.5%
各種サービス事業	754	1,365	2,118	2,857	278.9%
情報通信事業	4,544	6,069	6,362	6,816	50.0%
合計	34,850	47,082	58,305	69,619	99.8%

【営業利益】

(単位:百万円)	06年12月期 (実績)	07年12月期 (計画)	08年12月期 (計画)	09年12月期 (計画)	06対09年度 増減率
ファクトリー事業 (営業利益率)	1,525 (6.3%)	1,911 (6.2%)	2,688 (6.9%)	3,248 (7.0%)	113.0%
テクノ事業	228 (5.6%)	424 (6.1%)	685 (8.1%)	885 (8.4%)	288.2%
R&D事業	123 (10.0%)	152 (9.5%)	225 (10.7%)	380 (12.7%)	208.9%
各種サービス事業 (営業利益率)	△ 106 (△ 14.1%)	△ 83 (△ 6.1%)	82 (3.9%)	249 (8.7%)	334.9%
情報通信事業 (営業利益率)	124 (2.7%)	△ 15 (△ 0.2%)	362 (5.7%)	549 (8.1%)	342.7%
配賦不能営業費用	△ 917	△ 1,010	△ 1,410	△ 1,650	79.9%
合計 (営業利益率)	978 (2.8%)	1,379 (2.9%)	2,632 (4.5%)	3,661 (5.3%)	274.3%

注: 当期より、事業区分及び営業費用の配賦方法の変更を行っております。新・中期経営計画についても、新しい基準に基づき、表示をしております。



“選択と集中”

生産品目別売上（単独）

電気機器に関しては、順調に拡大傾向。

■ ファクトリー事業

クライアントの今後の動向から、パソコン・携帯電話・液晶のデバイスの請負のできる現場に、先行して注力。

■ テクノ事業

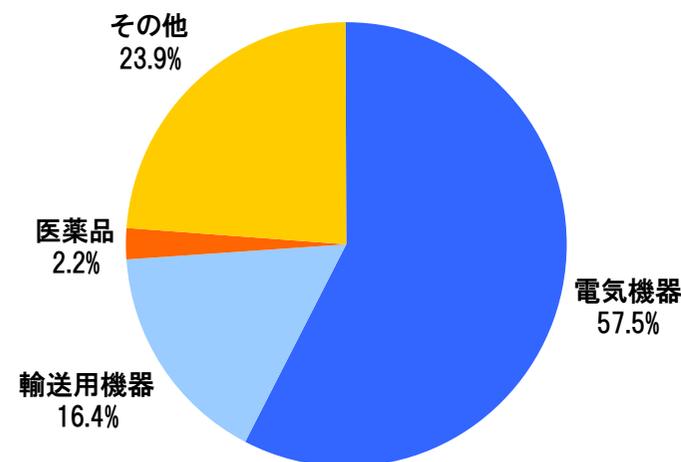
半導体・自動車・電気の保全・メンテ・評価に注力。

人材育成に投資をし、請負化のできるエンジニアを育成。

07年12月期中間(実績)

(百万円)	売上高	構成比	1月→6月 変化率
電気機器	10,287	57.5%	19.0%
輸送用機器	2,928	16.4%	8.6%
医薬品	402	2.2%	16.1%
その他	4,278	23.9%	28.5%
合計	17,895	100.0%	19.3%

生産品目別構成比
(単独・07年12月期中間実績)



“キャスト軸”

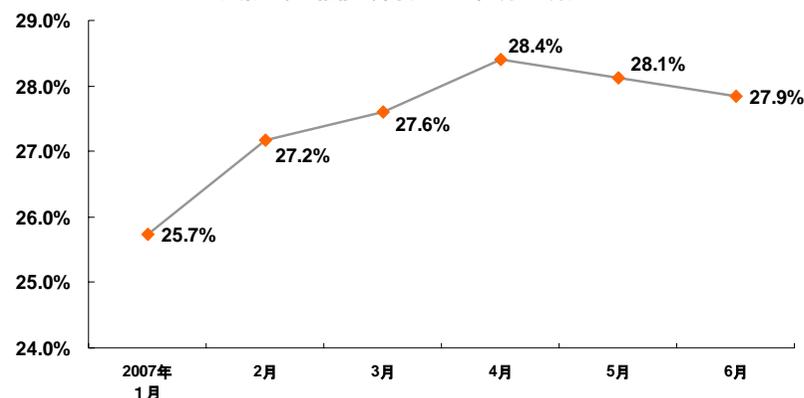
域内キャスティング（単独）

4月以降、明らかに入寮率減少傾向。

大型移管により件数は増加していますが、比率としては減少しています。

域内採用強化を進めることにより、今後更に、比率を減少させていく予定です。

入寮比率の推移（単独・2007年1月～6月）



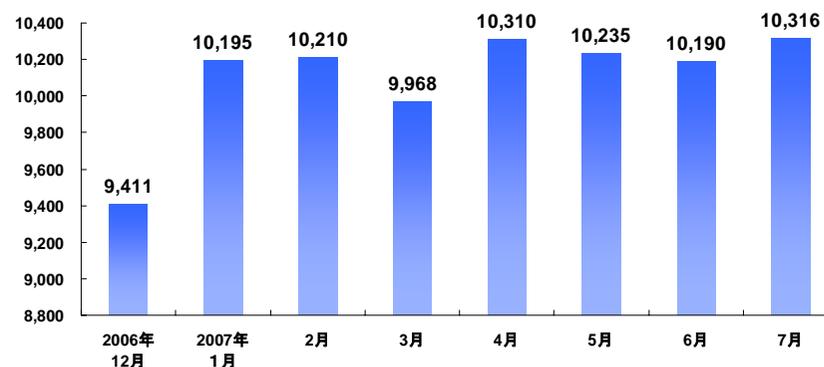
在籍数推移（単独）

大型案件の効果によりベースの拡大。

人材不足により、採用数減少傾向にありますが、在籍に関しては、順調に推移しています。

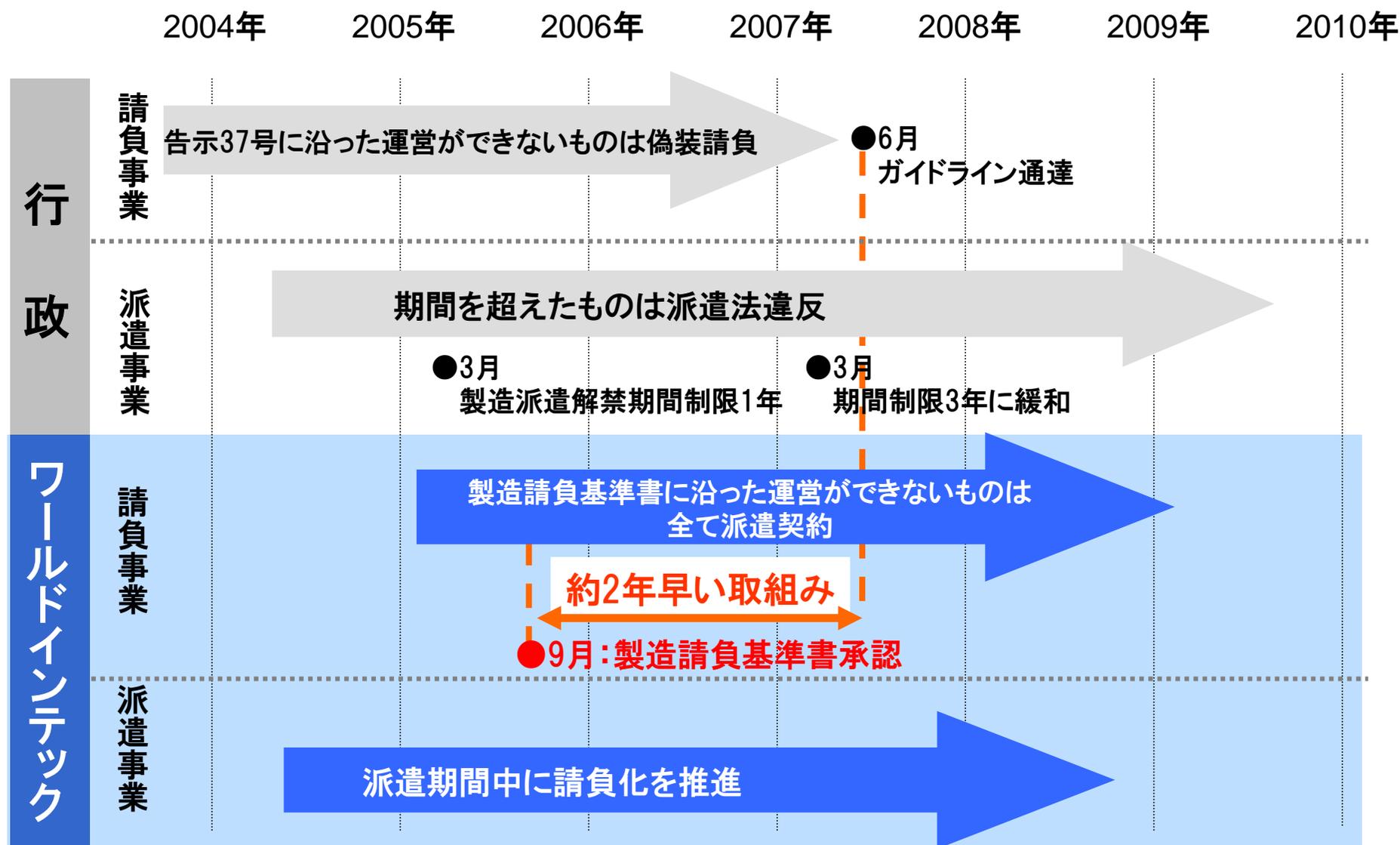
また、新たな採用手法にも取り組み、今後一層拡大・多様化するニーズに対応していきます。

在籍数の推移（単独・2006年12月～2007年6月）

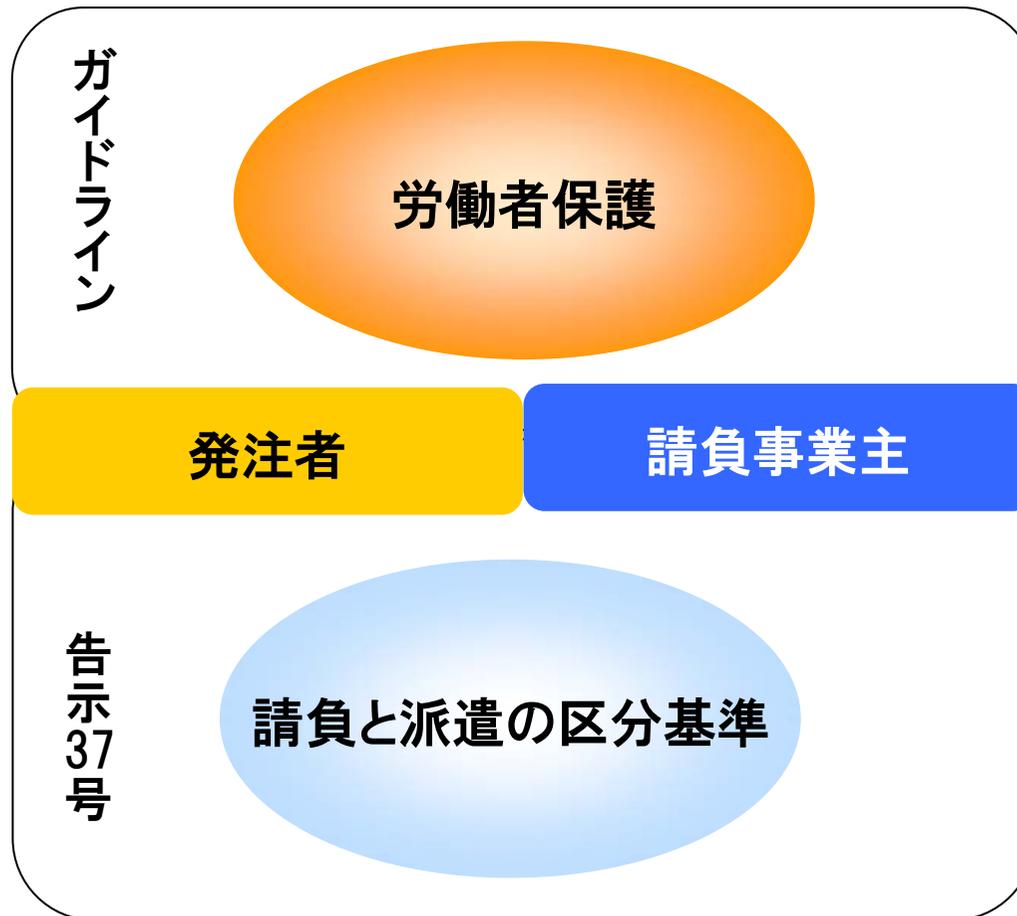


製造請負No.1にむけての当社の取り組み

直近の業界の変化と当社の取組み



ガイドラインとは？(2007年6月通達)



ガイドライン

請負事業主・発注者が、共に労働者の有する能力を将来的に有効に発揮できるようにお互いに協力し、雇用管理の改善と適正化を促進する事が主目的。

告示37号

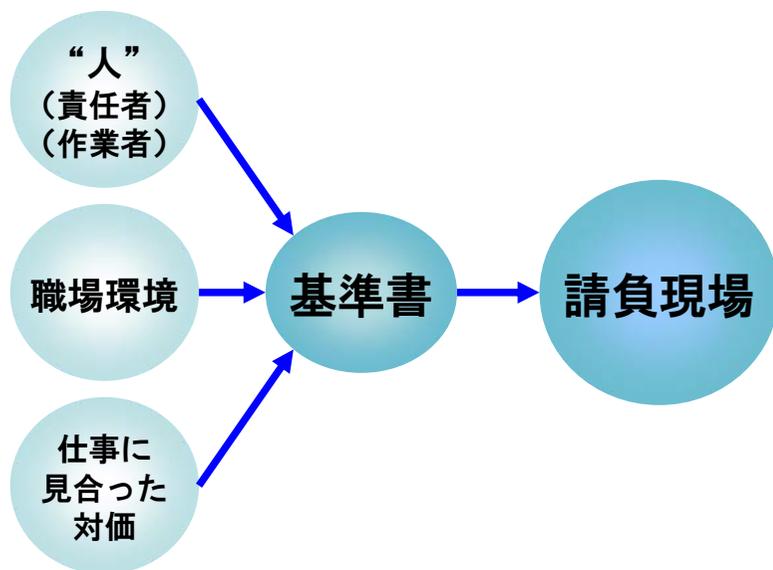
請負と派遣の区分基準であり、適正な請負を行う為の基準を定めるもの。

告知37号への対応には、業界に先んじ約2年前から、戦略的に取り組んでいます。

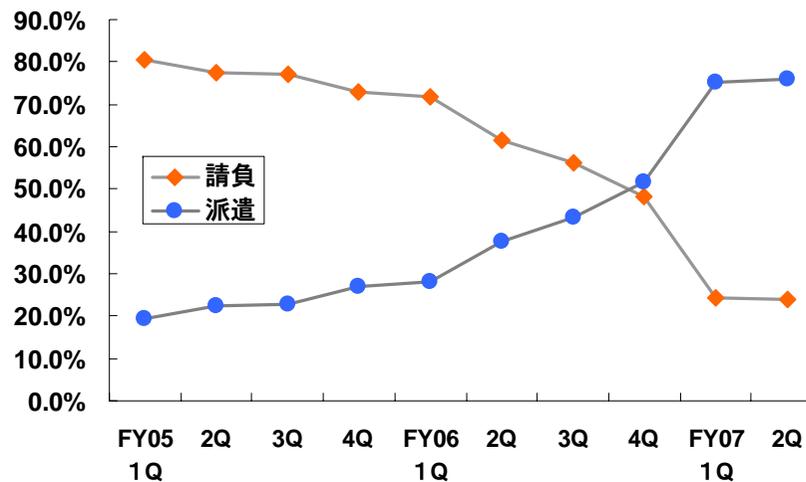
将来に向けた取組みと進捗

請負・派遣比率の推移

- 請負化については、「製造請負基準書」に沿った形で運営可能な現場作りとそれを実践する“人”づくりのための教育を進めています。2007年から2008年にかけて、現場作りと“人”づくりに注力し、2009年より本格的に請負現場に切り替える予定です。



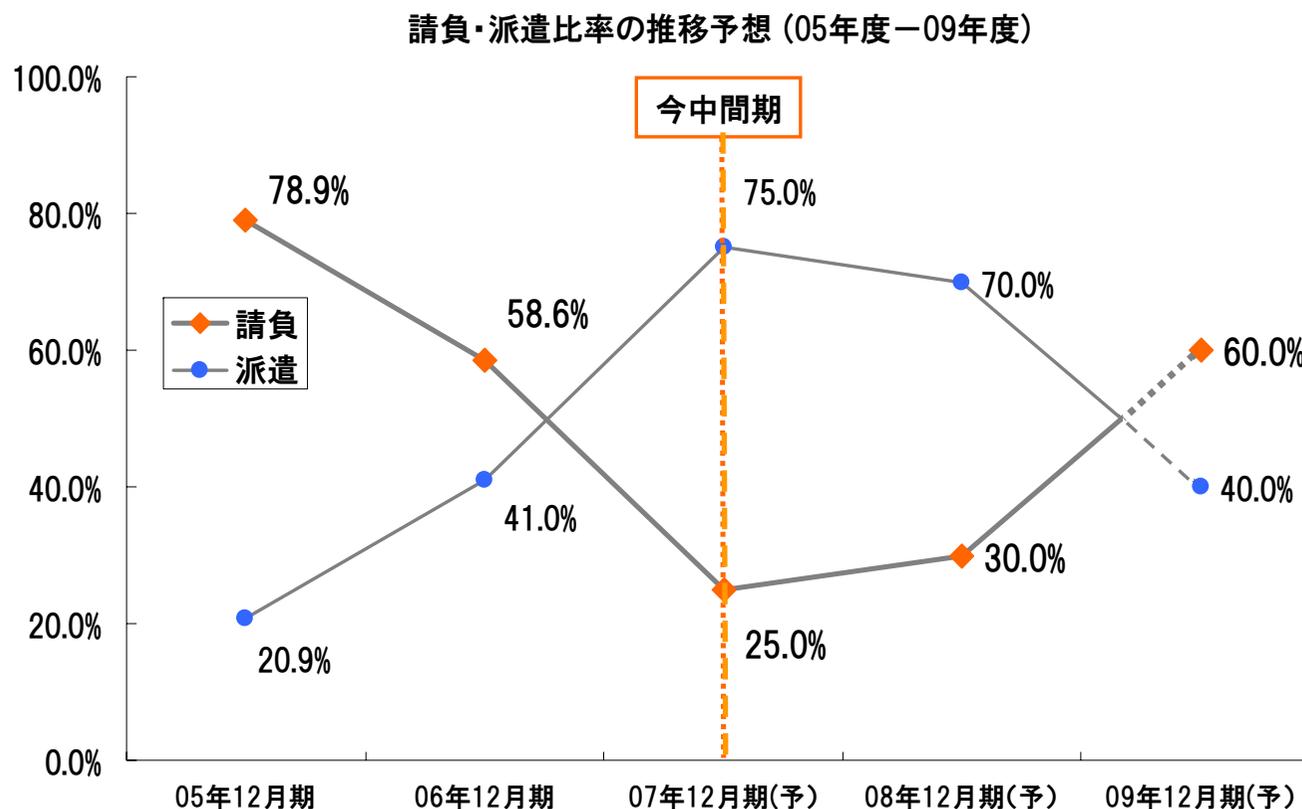
請負・派遣比率の推移 (2005年1Q-2007年2Q)



請負化への今後の取組み

製造請負・派遣比率の今後の見通し

- 今後の請負化は、コンプライアンスを含め、総合的に請負体制が確立できる限られた企業のみが対応できると考えています。



本資料に関するお問い合わせ

株式会社ワールドインテック

経営マネジメント室 広報担当 工藤 洋

TEL 03-3516-1122

E-MAIL irinfo@witc.co.jp

URL <http://www.witc.co.jp/>

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知ください。



ご参考資料

ご参考： グループ会社業績の概要

■ 各社順調に推移しております。

前年同期比	(単位:百万円)	持分比率	事業内容	売上高			営業利益		
				06年12月期 中間 (実績)	07年12月期 中間 (実績)	前年 同期比	06年12月期 中間 (実績)	07年12月期 中間 (実績)	前年 同期比
		100.0	短期総合派遣・物流・ 製造・軽作業	231	212	-8.2%	15	8	-46.7%
		100.0	製造派遣・ 製造人材紹介	271	352	29.9%	13	2	-84.6%
		100.0	販売員派遣	229	318	38.9%	△ 17	△ 18	5.9%
		100.0	製造業に特化した 人材紹介	-	20	-	-	△ 55	-
		100.0	販売員派遣・オフィス ワーク員派遣	-	99	-	-	△ 2	-
		51.0	情報通信	2,309	3,038	31.6%	103	2	-98.1%

修正予想比	(単位:百万円)	持分比率	事業内容	売上高			営業利益		
				07年12月期 中間 (修正予想)	07年12月期 中間 (実績)	修正 予想比	07年12月期 中間 (修正予想)	07年12月期 中間 (実績)	修正 予想比
		100.0	短期総合派遣・物流・ 製造・軽作業	193	212	9.8%	15	8	-46.7%
		100.0	製造派遣・ 製造人材紹介	345	352	2.0%	4	2	-50.0%
		100.0	販売員派遣	383	318	-17.0%	△ 9	△ 18	-100.0%
		100.0	製造業に特化した 人材紹介	21	20	-4.8%	△ 65	△ 55	-15.4%
		100.0	販売員派遣・オフィス ワーク員派遣	105	99	-5.7%	△ 3	△ 2	-33.3%
		51.0	情報通信	3,013	3,038	0.8%	21	2	-90.5%

ご参考： 2007年12月期グループ会社業績予想

(単位:百万円)	持分 比率	事業内容	売上高			営業利益		
			06年12月期 (実績)	07年12月期 (予想)	前年 同期比	06年12月期 (実績)	07年12月期 (予想)	前年 同期比
ワールドエキスパーツ	100.0	短期総合派遣・物流・ 製造・軽作業	406	343	-15.5%	23	32	39.1%
台湾英特科人力(股)公司	100.0	製造派遣・ 製造人材紹介	594	705	18.7%	39	35	-10.3%
ワールドコーディネーターバンク	100.0	販売員派遣	525	982	87.0%	△ 23	12	-152.2%
ワールドサーチアンドコンサルティング	100.0	製造業に特化した 人材紹介	2	123	6050.0%	△ 69	△ 90	30.4%
ウィズコミュニケーション	100.0	販売員派遣・オフィス ワーク員派遣	53	247	366.0%	△ 6	△ 3	-50.0%
イーサポートグループ	51.0	情報通信	4,544	6,069	33.6%	124	△ 15	-112.1%

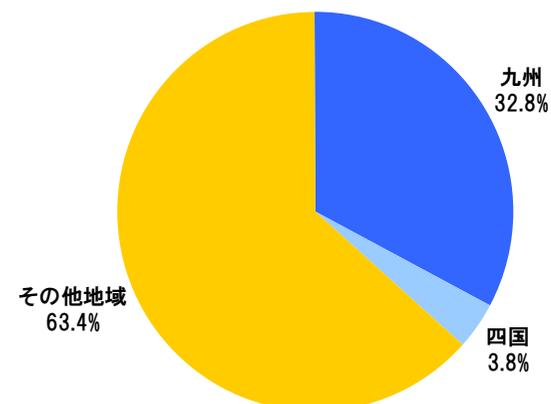
トピックス

域内キャスティング推移（単独）

域内でのキャスティング（人員配置）を強化し、より“絆”の深い職場環境を目指しています。

(百万円)	06年12月期 中間(実績)	構成比	07年12月期 中間(実績)	構成比	前年 同期比
九州	4,351	33.0%	5,869	32.8%	34.9%
四国	526	4.0%	672	3.8%	27.8%
その他地域	8,309	63.0%	11,354	63.4%	36.6%
合計	13,186	100.0%	17,895	100.0%	35.7%

拠点別売上構成比
(単独・07年12月期中間実績)



定着率推移（ファクトリー事業）

エンゲージメントマネジメントに注力し、定着率の高い職場づくりを目指しています。

ファクトリー事業における定着率の推移（2007年1月～6月）

